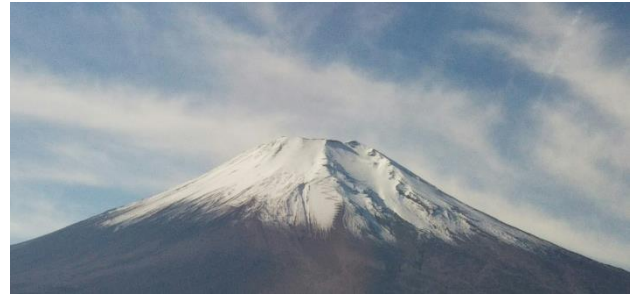


リゾート山中湖 講演会



傷だらけの富士山

～ 今の富士山は世界文化遺産に相応しい山なのか ～

日時 2024年6月4日(火) 午前10時～12時(自由参加・参加費無料)

会場 山中湖村旭日丘公民館交流センター

主催 リゾート山中湖 TEL: 0555-62-4388(成本)

講師 渡辺豊博氏 元都留文科大学教授(日本で最初の「富士山学」を講義 他)
NPO 法人 グラウンドワーク(環境改善活動)三島 専務理事・農学博士



汚れた源兵衛川



清流がよみがえった
源兵衛川



1984年に英国で始まった市民・企業・行政がパートナーシップを結び、実践的な環境改善活動に取り組むグラウンドワークを1992年に日本で最初に三島に導入し20の市民団体を束ねる「グラウンドワーク三島」を設立。静岡県庁在勤中に地元の川が汚れた有様に心を傷め、「水の都・三島」を再生すべく、源兵衛川の水辺再生や絶滅した水中花三島梅花藻の復活、歴史的な井戸や湧水地の復元など市内75箇所で開催して市民力・地域力の有益性を実証してきた。

講師プロフィール

1950年生まれ、静岡県職員として農業基盤整備事業の計画実施に携わる。生活・文化部初代NPO推進室長などを経て、2008年4月より都留文科大学教授。2016年4月より同特任教授。富士山学や市民活動論、地域環境計画ゼミなどを開講。現在、NPO法人グラウンドワーク三島専務理事。

グラウンドワーク三島をはじめとする9つのNPO法人の事務局長職を歴任。地域づくりや水辺再生をしかける「まちづくりプロデューサー」の役割を全国に先駆けて先導。著書に「清流の街がよみがえった」「先生、NPOって儲かりますか?」「富士山の光と影」など多数。